

# 育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

## 神奈川県連盟合同野外炊事

川崎海洋少年団 山岡 修

平成30年2月25日に神奈川県にある海洋少年団が集まり、横浜市こども自然公園青少年野外活動センターにおいて合同の野外炊事をしました。野外炊事と言っても季節外れの餅つきです。

団員は、低学年が多かったため、指導員、父母で餅つきをしてあらかじめお餅にしてから、最後の仕上げのお餅を団員たちに任せることにしました。餅つきをしている指導員を団員が囲み、「よいしょ」「ペッタン、ペッタン！」と元気な掛け声が飛び交い、お餅をつく指導員もリズムに乗ってお餅をつくことができました。調子に乗って餅つき

を続けた指導員は、翌日は筋肉痛になったことでしょう。

いよいよ大事な仕上げの餅つきを団員に任せることになりました。子ども用の軽い杵を振り上げ白へ…「ぺち、ぺち、カッコーン」と弱い力でお餅をつく音と、杵と臼が当たった音が交互に響き渡りました。そして、みんなの力を合わせて、30キロのもち米をすべてお餅にすることができました。

あんこ餅、きな粉餅、のり餅などなど食べておなかもいっぱいになり楽しく幸せな一日を過ごしました。



## 親子参加型レクリエーション

宮前区子ども会連合会 佐野 浩 己

29年度の初春「親子参加型で行事って何もやってないよね」「ないなら独自運営でやってみる？」話はトントン拍子に決まり、年間2～3回の親子参加型の支部行事が決まりました。

第1弾は、ベタな「流しそうめん」。もちろん箸もお椀も名刀「肥後守」を使い手作り。ナイフの持ち方から、使い方まで説明しながら親子共々に汗をかきながら何とか完成！（見ている方は危ない手つきで冷や汗タラタラ）ケガもなく楽しく流しそうめんの始まり。そうめんだけでは楽しくないので、輪切りのキュウリ、ソーセージ、なんとグミまで竹の中を流れていきます。子どもたちの歓声と親たちの笑い声と共に第1弾は60名参加で無事に終わりました。



秋に入り第2弾！「棒パン&豚汁」。豚汁はスタ

ップで調理し、親子で棒パン作りに挑戦してもらいました。

まずは生地作りから。手をベタベタにしながら捏ねて発酵を待ちます。待ち時間はここの広場でジュニアと一緒に親子でゲーム。どの顔にも笑顔が見えます。



生地も完成。手を真っ白にしながらかく長く伸ばした生地を上手に巻いていきます。出来た子どもから七輪で回し焼き「焦げてきた」「なかなか焼けない」「ふくらまない」と大騒ぎ。焼き上げた棒パンはジャムやはちみつ、はたまたカレーを付けて、特製豚汁と共に美味しくいただきました。今回は45名の参加で楽しく大成功でした。

第3弾はインフルエンザの流行で断念しましたが、30年度も親子参加型の行事で、子ども会活動に理解が寄せられるよう楽しい企画を考えていきます。

## 中高校生リーダー研修委員会に参加して

テーマ「みんなで交流スルソ<sup>ちえみ</sup>ン知恵見」

平成29年11月11日(土)から12日(日) (1泊2日)  
川崎市黒川青少年野外活動センターにて  
総勢39名のもと  
中高校生リーダー宿泊研修会が行われました。

### 【プログラム】

アイスブレイク 親睦を深めるゲーム  
グループ調理 キャンプファイヤー  
情報交換 バーベキュー



委員長 中根涼介 (川崎区子ども会連合会)

自分は中高校生リーダー研修委員会のスタッフになるのはもちろん、参加することさえ初めてでした。研修会の流れが分からない状態で始まってしまいましたが、他のスタッフの人達が支えてくれて、彼らはとても大切な存在になりました。

1日目のキャンプファイヤーでは各班ごとの劇で盛り上がりました。2日目のバーベキューではみんな楽しみながらお腹いっぱい食べて満足そうでした。また、情報交換会では各団体の活動や成り立ち、他の団体との違いを知る事が出来て大変有意義でした。他にはアスレチックや工作教室といった参加者だけでなく、スタッフも楽しめるプログラムもありました。全体的に楽しい研修会になったので、良かったです。

木村純也 (高津区子ども会連合会)

夕飯の鍋を作っている時やBBQをしている時、「これを手伝ってくれる？」と言ったら「いいよ」と気軽に返事をしてくれてすごく優しい思いやりのある人がたくさんいるなと思いました。

有吉真 (宮前区子ども会連合会)

情報交換では今まで知らなかったことが多くあり、研修会に参加して良かったなあと感じました。参加した人たちと仲良くなって沢山学び、話したりと良かったです。

中山有紀 (幸区子ども会連合会)

一番嬉しかったのは自分のキャンプネームをすぐに覚えてくれて、その名前でも呼んでくれたことです。

公平勇輝 (高津区子ども会連合会)

初めて参加して感じたのが、キャンプファイヤー後の反省会で中高校生ならではの真剣さがありました。

石津佳之 (宮前区子ども会連合会)

全体的には何をやっても説明不足だと思いました。何が必要か、どこに行けばいいかなど分かりづらかったです。

安岡美里 (宮前区子ども会連合会)

ボーイスカウトの人たちから火のおこし方をたくさん学んだので、これからの研修にいかしていききたいと思います。

佐藤ころこ (ガールスカウト第32団)

今回の反省点は積極的でなかったところです。次回参加出来たら、もっと他団体と交流して沢山のガールスカウトを誘って楽しい研修会にしたいです。

石津裕基 (宮前区子ども会連合会)

自分たちの活動を発表することによって、なぜ自分たちがその活動をしているのか再確認することができました。

島田和奏 (ボーイスカウト第57団)

たくさんいた中の一部の人達としか話せてなく、しおりに書いてある「積極的に」が実践できていなくて残念でしたが、全体的に普段より交流することができたので、私的にはとても満足です。

守屋友恵 (幸区子ども会連合会)

今回の研修で普段かかわらないボーイスカウトやガールスカウトと一緒に過ごし、相手の活動はもちろんJLの特徴を再認識出来ました。とても面白かったので、自分たちの活動に活かしたいです。

泉山健 (ボーイスカウト第56団)

最初は少し騒がしかったのですがプログラムが進んで行くにつれて、みんな緊張がとれてふざけあえるほどまでになりました。

足立真美子 (ボーイスカウト第56団)

今回初めて参加しました。たった1泊2日の研修会だったけど、沢山の仲間に来て沢山の知識を入れることが出来て、自分のためになったのではないかと思います。

## ボーイスカウトの活動

ボーイスカウト川崎地区協議会 スカウト支援委員会 井上 景

### 【BS・VS部門合同プログラム】

#### ●白梅隊第46期

7月16日(日)～17日(月)、白梅隊第46期の1泊ハイキングが実施されました。この白梅隊は、ボーイスカウト川崎地区が主催するボーイスカウト(中学生年代)が対象の合同プログラムです。第46期には24名が参加。5月28日に結成され、ハイキングの準備や大型工作物の作成などを経て、メインの1泊ハイキングが実施されました。

ハイキングはJR足柄駅を出発し、矢倉岳を登り夕日の滝でテント泊。翌日は金時山、明神ヶ岳を縦走し、強羅をゴールとするコース。テントや食料など、すべての装備を持つての長時間ハイキングは初めてのスカウトも多く、また、強烈な暑さも手伝って多くのスカウトがバテバテ。しかし、多少の遅れはあったものの全員が無事ゴールできました。

この経験をぜひ今後の活動に生かしてもらいたいものです。

#### ●GATC 川崎25期

現在、ボーイスカウト川崎地区では、GATC(ゴールデン アックス トレーニングコース)川崎25期が結成され、20名のスカウトたちが概ね月に1回のペースでプログラムを展開中です。

GATCはベンチャースカウト(高校生年代)を対象とし、隔年で行われるプログラムです。普段は別に活動する各団のスカウトが集まって隊を編成し、半年以上にわたってさまざまなプログラムを展開します。

第25期は、昨年9月16日に結成され、1泊ハイキング、大型工作物の作成、雪かき体験など、さまざまなプログラムに挑戦。現在は、5月の最終プロ

グラム「100kmハイキング」に向けて準備を行っています。

まだプログラムの途中ですが、ここで経験した体験と一緒に活動した仲間を大切にしてもらいたいと思います。

今後もボーイスカウト川崎地区としては、各年代ごとの合同プログラムを活用し、活動の活発化を図り、次世代の活動を支える若いリーダーたちの育成を進めていきたいと考えています。



### 【川崎地区B-P祭】



2月4日(日)、ボーイスカウト川崎地区主催の「B-P祭」が幸市民館で行われました。この「B-P祭」とは、ボーイスカウトの創始者バーデン・パウエル(B-P)の生誕を祝い、日々のスカウト活動を振り返るセレモニーです。ボーイスカウト川崎地区では4年に1回開催している、川崎市内のボーイスカウト関係者が一堂に集まるイベントです。今回は、川崎市内から11の団、700名以上のスカウト・リーダーが集まり、各団の音楽コンテストやゲーム、B-Pの生涯を紹介するスライドの上映などが行われました。

また、「B-P祭」終了後、式典が行われ、日ごろの活動に対し、多くのスカウトが表彰を受けました。趣旨はお堅いセレモニーですが、ボーイスカウトらしく、楽しいイベントとなりました。

## 子ども会まつり

麻生区子ども会連合会 渡邊 利

麻生区子連では毎年年度末の3月に「子ども会まつり」を行なっています。目的は・子どもリーダー研修生が1年間の成果を発表できる場・区子連の活動資金確保の場・単会と区子連が協力して子ども会を発展させる場・多くの保護者の方に子ども会を知ってもらう場として開催しています。模擬店コーナーは9店舗(焼きそば、フランク、飲み物、たこ焼き、綿菓子、チョコバナナ、プラバン、ビニールおもちゃ、お楽しみ)あり、内5店舗は単会が輪番で店舗責任者となっています。それ以外の単会からは各々2名の育成者の方にサポートいただいています。

この他に・子どもリーダーによるゲームコーナー・JLコーナー(いずれも子どもリーダーやJLが独自に考案したゲームなど)・麻生区内8館のこども文化センターコーナーもあります。

会場は麻生区役所広場と麻生市民館大会議室他を使用しています。当日は朝8時30分から準備を始め、模擬店開店は10時、終了は14時過ぎですが、後片付けを含めると16時頃になります。

また、この日は大勢の人が集まるので「子ども会まつり」開会式の前に、1月に実施した麻生区子連作品展の表彰式を行なっています。そのため毎年、麻生区長、麻生市民館長、その他、市議会議員の方も来賓として多数ご参加いただいています。

この「子ども会まつり」は本年(平成29年度)で35回となり、これからも前述の目的のために継続して実施していきたいと考えています。



こ文コーナー



リーダー研修生コーナー



作品展表彰式

## 黒川わくわく冒険キャンプ 1月13日(土)~14日(日)

ガールスカウト川崎市連絡会 実行委員長 遠藤 麻紀

2017年度の少年団体リーダー研修事業は【黒川わくわく冒険キャンプ】を黒川青少年野外活動センターで行いました。寒い時期での開催にも関わらず、多くのスカウトが参加してくれました。二日間でしたが充実のキャンプで、スカウトたちの笑顔がなによりの答えでした!!

### 《アドベンチャーツアー》

14団ブラウニー 徳田 月

アドベンチャーツアーでは、くものすをくぐるのがいちばんたのしかったです。でも、とてもむずかしくてたいへんでした。おこなわとびもむずかしくて、とぶのがたいへんだったけどがんばりました。



14団ジュニア 徳田 空

プログラムの中のアドベンチャーツアーに出かけ、クモの巣で遊びました。一つの穴を通ったら、そこはもう通ってはいけないというルールがあるので、とても難しかったけど、チームで協力し合い、力をふりしぼってクリアすることが出来ました。皆で仲良く協力できたから、とても楽しかったです。



### 《サモア・壺焼き芋》

40団ブラウニー 岩本 詩葉

サモアが作れたのしかったです。なぜかというマシュマロがトロトロにやけたからです。マシュマロとチョコレートがとってもあって、もっとたくさん食べたかったです。すごくかんたんにできてびっくりしました。かぞくみんなでもたやってみたいです。



40団ブラウニー 瀧 碧音

わたしはつぼやきのことが心にのこりました。やきいもをつぼでやくことをはじめて知っておどろきました。食べられるまで1時間かかったので、そのかいあってほくほくしておいしかったです。

40団ブラウニー 熊井 想乃

ぼうけんキャンプで、たんけんをしました。サモアやつぼやきいもを食べて、とってもおいしかったです。

### 《ツリークライミング》

32団シニア 松田 朱佳莉

私は、ツリークライミングに初めて挑戦しました。木肌に触れながら木に挨拶をして登り始めたのが印象的でした。フットブレイズを使って登るのは、思っていたよりも腕の力が必要で、セーフティとして、引きとけ結びをしながら上に登ったので、ガールスカウトで学んだロープの技術は、ツリークライミングにも通用するんだなあと思いました。コツを掴むとスイスイ登る事が出来、木の上は風が心地よく、空の中に溶け込むような感じでした。冷たい風は澄んだ空気となり、近くの家並みも見える程高くまで登ると、木との一体感を味わうことが出来、とても素敵な体験となりました。



### 《2日目冒険プログラム》

48団レンジャー 鳥海 たから

今回2日目からの参加だったので、冒険プログラムしかできませんでしたが、久しぶりにジュニアと野外活動が出来た事が一番楽しかったです。また、キャンプの鉄板「サモア」も久しぶりに食べられて美味しかったです!学んだことはジュニアと一緒に活動をして、シニア、レンジャーが引っ張るべき所と、口を出さずに見守るべき所の使い分けでした。他団との交流にあまり慣れていないジュニアの頃を思い出して意見が出ない時は率先して意見を出し、ジュニアからたくさんアイデアが出た時は一歩引いて「じゃあ、やってみようか!」と見守ること。状況に応じて対応する力がシニア、レンジャーには必要だと改めて感じました。次回はぜひ、1日目に出来なかったツリークライミングをやってみたいです。

31団ジュニア 高野 紗

ターザンみたいに一人ずつ島へ渡って全員が乗ったままで、たえるというゲーム。何回も失敗したけど、その分協力し助けあったりできたので良かったです。

31団ジュニア 増井 雛

ボール流しをしました。といをつなげてボールを流していくのが難しかったです。

31団ジュニア 武笠 溪花

一番楽しかったのはシーソーです。理由はみんなと協力して楽しむことが一番だと思ったからです。

31団ジュニア

三瓶 桜子

ターザンで怖がっていた友達が、最後に来た時がうれしかったです。

